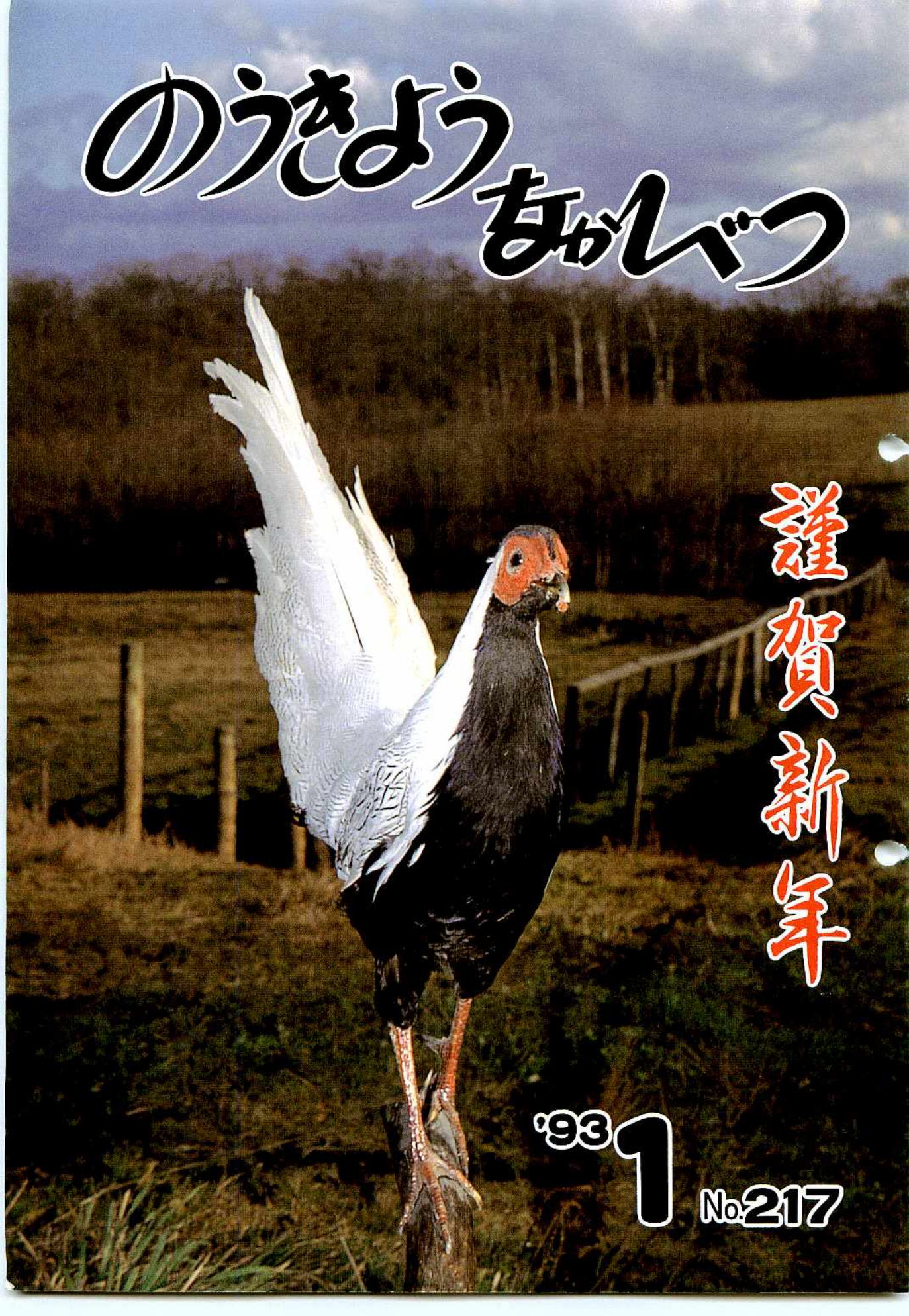


# のうきよう ちんべつ

謹賀新年

'93 1 No.217



# のうきよう ちがべつ

## もくじ

- 4 ——— 年頭のごあいさつ
- 8~10 — 西年生まれの仲間大集合
- 11 ——— <わが家の人気者>  
僕も早く学校に行きたいよ  
笠原 尊博くん
- 12 ——— 自由化阻止3,500人が中島公園に結集
- 13 ——— 全道JA 青年部大会
- 15 ——— 根釧合同JA 婦人部研修に参加して
- 16~19 — ヨーロッパ酪農、人工授精視察報告
- 20~21 — 今月のフォトアルバム

希望に惹く新妻を迎え  
皆々様のご多幸を祈り  
おめでとう

平成五年元旦





新春の

おまじびを

津まげます

本年も相変わらぬご厚誼を  
お礼に津まげます

平成五年乙丑

中標津町農業協同組合



理事 鈴木 祥幹、久我 良夫、齊藤 哲雄、太田 功、中浦 健雄、上村 重光、渡辺 善行	理事 太田 直行
代表監事 白田 慶和、 當農委員長 理事 鷺見 孝、 副組合長 理事 山本 雪信、 組合長理事 児玉 光彦、 管理購買 委員長理事 佐々木政行、	監事 大田 豊農委員長 理事 竹下 日吉



# 今年こそ豊饒の年に

中標津町農業協同組合組合長理事 児玉光彦

明けましておめでとーございませす。

平成五年（一九九三）の新春を、ご健勝にてお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は日本経済がバブル経済の崩壊と共に企業の投資が減少し、景気は減速に向かい回復を見ず年を越しました。回復は秋以降かと言われております。

農業問題にあつては、米を始めとする農畜産物の市場開放の波は昨年来大きくせまり、「日本の食と農を守る緊急全道大会」を十二月九日札幌に於いて、また十二月十六日には、全国大会を開き不退転の決意で阻止運動を展開の中で年を越しました。

昨年の当地域は一年を通じ雨が、多く畑作（ビート、馬鈴しょ）にあつては減収となり、また牧草も収穫時の雨とご苦労の多い年であ

りました。

また、牛肉の自由化影響は大きく、景気の伸び悩みもあつて、又レ仔を始め乳牛個体、肉牛価格は低迷を続け、厳しい経営でしたが、而して、生乳生産は組合員皆様の意向数量で搾る事が出来ました。この事が一抹の明るさでした。

畑作は馬鈴しょ、ビート共に雨の影響が大きく、収量、ライマン、根中糖分共に前年を下廻りました。而して農協合理化澱粉工場へは三十九万三千俵強の出荷をいただき処理致しました。ご協力に對しお礼申し上げます。

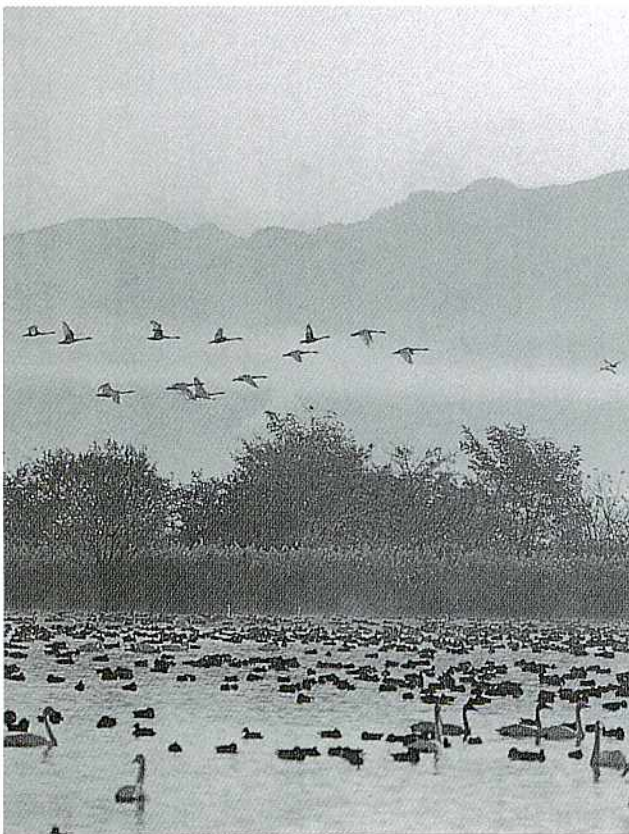
今年も自由化市場開放の波はせまり、ウルグアイ・ラウンドがどの様な決着を見るか先行不透明なだけに不安を感じますが、阻止に向かつて全力を傾注せねばと考えます。しかし、農業もまた、国際化時代に向かつて進む事が考えら

れます。

農水産に於いて我が国農業の構造的衰退にブレーキをかけるべく「新しい食料、農業、農村政策の方向」を公表しましたが、生産者が意欲的に取り組めるものであつ

てほしいものです。  
平成五年も多くの課題をもって明けましたが、私共役職員心を新たに、その解決に向かつて取組み努力してまいります。今年もどうかご協力を心よりお願い申し上げます。

平成五年（一九九三）こそ豊饒の年であり、組合員ご家族の皆様にとつてご健勝ですばらしい年になります事をお祈り致しまして、ごあいさつと致します。





# 豊かな北海道創りに全力

北海道農業協同組合中央会会長 床 鍋 繁 則

謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

昨年は天候不順に加え、台風による被害、さらには冷害と労多くして報いの少ない年でした。改めてお見舞い申し上げますとともに、本年が豊穰に恵まれますよう心からお祈りいたします。

昨年の北海道農業、系統農協をとりまく環境は非常に厳しいものがありました。本年もさまざまな課題が山積する重要な年になると思っています。

日本そして北海道農業は、外国からの農畜産物市場開放圧力に揺れ動いており、不透明なガット・ウルグアイラウンドの情勢は決して予断を許せません。私は、さらに国民各層の理解と賛同を得て、市場開放阻止と主要食料の完全自給政策確立に、組織をあげて取り組む決意であります。

また、昨年農水省は「新しい食料・農業・農村政策の方向（新政策）」プランを策定、公表しました。その政策手法は、「物」や「土地」

に着目した従来の方法に対して、今後は、「人」に着目した手法を取るといふものであり、主業農家を中心とした北海道としては、この「新政策」の具体化と基本政策の確立を強く期待するものであります。

そして私たちは、「21世紀に向けた新しい農協像」を明らかにするため、「JA（農協の愛称）」を制定し、イメージの改革、役職員の意識改革、組織、事業の実体改革を統一的に進める農協CI活動を積極的に展開し、農協のイメージアップと改革に取り組んでおります。

一方、いま北海道は日本一の農業生産をあげるまでに飛躍をとげ

ました。これも、農家組合員および農協役員の方々が、それぞれの時代に積み重ねてこられた英知と努力による年輪のたまものと、深く敬意を表します。

一昨年の第二十回農協大会で、私たちは「食料基地・北海道農業の確立」宣言をいたしました。いま、それを実践しています。同時に消費者の求める「安全でおいしく、より良い農畜産物」の供給に真剣に取り組んでいるのであります。

そしてわれわれは、今後とも、地域社会とのつながりをさらに深めるとともに、農業の持つ国土・環境保全についての役割も十分に果たしていかなければなりません。また、農業には自然の持つ恵みがあります。国民の心のふるさととして、農村の良さを生かした「心の豊かさ」を大切に活動も、

積極的に展開していきたいと存じます。年頭に当たり、素晴らしい資源、恵まれた条件を生かした豊かな北海道創りに、系統農協の全力を傾注したいと決意をあらたにするしだいであります。





## 営農に意欲のもてる、よい年であることを祈念して

中標津町農業協同組合 参事 五百木 忠雄

明けましておめでとうございます。平成五年の新春を、ご健勝にてお迎えるのこことお慶び申し上げます。昨年は、雨が多く天候不順で、組合員の皆様には大変ご苦労をされた年でありました。しかし皆さん方のご努力により、牛乳の生産は前年に引き続き高い伸率をしております。これは個体価格の下落

による所得減少を補うためのご努力の現われと思えます。畑作についても天候が悪く、前年の収量を下回り澱粉工場の原料受入れも三十九万三千俵で、前年より四万千俵程下回りましたが、回収率は計画を上回る回収率で、事故もなく無事操業を終りました。農協事業は、懇談会、総会などの

ご意見をふまえ、営農資材価格の引下げ、生乳集荷運賃の引下げ、貸付金利率の引下げなどを行ない、加工用馬鈴しよの貯蔵庫の設置、肉牛肥育センターの増設なども行なうてまいりました。

さて今年、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉がきわめて厳しい局面を迎えており、難しい農業情勢にあります。生産抑制のない営農に意欲をもつて取り組める年であつて欲しいものです。第三次地域農業振興計画は、策定委員の方々に目下ご協議をいただいで

おりますが、農業情勢不透明な時だけに、将来展望が難かしく委員の方もご苦労をされておりますが、会議を重ね、ご検討をされております。農協事業も、個体価格の下落により販売取扱い収益の減少や、生産資材手数料の引下げなど経営収支に厳しいものがありますが、何とか黒字決算が出来るよう努力をしてまいります。

これから一段と寒さに向かつてまいります。組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 国際競争力に 対抗できる農業経営を

北根室地区農業改良普及所 所長 雨野 和夫

明けましておめでとうございます。平成五年の新春を、ご家族お揃いで、お迎えるのここと存じます。

昨年春先より、不順な天候が続きました。途中一時期、好天が続いた時もありましたが、その後収穫期まで晴天が長続きしないなど、全般的に気温は低く降水量が多く、日照時間の少ない一年でありました。この結果、牧草の収量は

昨年並となりましたが、畑作物についてはは平年作に至らなかったところであり、誠に残念であります。しかし、本年の天候を考えますと、この程度に納まったことは農家の皆様の日頃の努力の積み重ねによるところであり、深く敬意を表するところであります。また、生乳の生産については、後半に至ってやや伸び率が鈍って

来たものの、前年に比較して七八%増となること予想されます。前年に続いて増産が図られたところとす。このことは頭数の増加はもとより、良質粗飼料の生産、飼料給与の改善並びに飼養管理の改善によるところであり、これまた農家の皆様の努力の成果であります。さて、農畜産物の輸入の自由化については、この二三年の間新聞雑誌などに掲載され、各会合でも論議され農家の皆様も十分理解されていることと存じますが、行き詰まっております。新ラウンド(多角的貿易交渉)をめぐる、米国

と欧州共同体(E.C.)との交渉が基本合意に達したことで、最高決議機関である貿易交渉委員会による合意、更には多国間交渉によることですが、農畜産物の自由化は急速に進みそうな状況にあります。米は勿論のこと何れは乳製品、でん粉にも及ぶことが考えられます。今後の営農にあたっては、個々の経営の特色を十分生かし、国際競争力に対抗できる農業経営を進めるよう、お願い申し上げます。組合員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 未来ある

### 農業の確立に向け

中標津町農業協同組合青年部部长 金子安一



明けましておめでとうございます。昨年は一昨年から始まった牛肉自由化のあおりを受け、乳牛個体価格がさらに暴落し、また、三月には乳価も据置きと、我々生産者に取りましてダブルパンチを受けた様で、先が見えないトンネルにも入った感じでした。

また、天候にも恵まれず、特に六月下旬から八月と乾草収穫時期の長雨で、三日と太陽の出る日は

なく、ほとんどの農家でまともな乾草を取った人はいないのではないかと思われまます。おかげでロー

ルサイレージが各家々で沢山出来上がったのでは。また一番草の収量不足で、冬季間の餌不足が今後の不安材料でもあります。

畑作関係においても天候不良で、生育管理など大変苦勞の多かった年でした。さて、私達青年部は消費拡大、

異業種交流、独身者委員会など色々な方面から協力を得て活動してまいりました。

消費拡大においては、牛乳、牛肉、乳製品、伯爵いもなどのPR活動を行ないましたが、出店五年目を迎えた北海道物産まつりでは、やはりブランド嗜好が強く伯爵いも

は、男爵、メークインにおされきみといった感じで、PR方法などもっと違った角度から見直しが必要と思われまます。また、町、農協、生産者が協力し、地場ブランドとしての確立も急務ではないでしょうか。商工会青年部との異業種交流も、

五年目を迎えた伯爵まつり&ふれ

は本当に力強い限りです。ありがとうございます。

道農婦協も四十周年を迎え札幌グリーンホテルで、部員千人の参加のもとに盛大に記念式典を終えました。

J A中標津婦人部も今年度四年の節目を迎え、また、気を新たに前進して参りたいと思ひます。家の中を明かるく輝やかすのは、そう母ちゃん達なのです。いろいろなことに意欲を燃やし、いろいろ

あい広場は晴天に恵まれ、五千人を越える沢山のお客様が参加し、秋の収穫の喜びを楽しんでいたのだいたと思ひ、両部とも満足しております。

今年はずより進行中のガット・ウルグアイ・ラウンドの決まる年の様に思われ、米はもとより乳製品、でんぷんと私達にとりましては、不安な年明けとなりそうです。国の対応を期待するのではなく私達生産者自ら力を合わせ、農協組織の一員として未来ある農業の確立に向け前進しましょう。

## 一家の太陽として

中標津町農業協同組合婦人部部长 横田純子



新年あけましておめでとうございます。平成五年の新春をご健勝にてお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の混沌とした農業情勢は、農を営む者にとつては何とも憤りのぶつけようのない、しかし、かと

いつてやめるわけにもいかない底辺の状態の営農でした。

新しい年を迎える度に、今年こそはの思いを毎年くり返しているのは私一人だけではないと思ひます。この様な状況の下で皆様の婦人部に対する積極的な理解・協力



ろなことを吸収し、一家の太陽として光輝いた女性として立ち向かって行きましょう。

酉年生まれのもの

仲間はたち

# 大集合



今年の干支酉年生まれのみなさん（一家族二人以上の酉年生まれの方）に登場していただきました。

今年も良い年でありますように！！

① 生年月日 ② 今年の抱負



豊岡地区  
今井秀和さん

- ① 大正十年三月二十八日
- ② 健康で毎日毎日楽しく直美さん
- ① 昭和五十六年八月十四日
- ② 勉強をいっしょうけんめい頑張る。



拓農地区  
阿部文雄さん

- ① 昭和三十二年十一月三日
- ② 誰にでも堂々と見せられる体型、能力を備えた牛群作りを敬子さん
- ① 昭和三十二年五月十三日
- ② 子供と一緒に遊べるゆとりある家族環境を作って行きたい。



東俣落地区  
遠藤太一さん

- ① 大正十年四月十七日
- ② まだまだ元気になりたい。美幸さん
- ① 昭和五十六年七月十日
- ② 全部のテストで八十点以上を取るように。







南中地区  
櫻井幸一さん

- ① 昭和三十二年七月一日
  - ② 頑張るしかない。
- 百子さん
- ① 昭和三十三年七月十四日
  - ② 時間をつくって家族で小旅行をしたい。



南中地区  
櫻坂順子さん

- ① 昭和三十三年二月七日
  - ② 目標に向かって家族みんなが明るく、そして楽しい暮らしを。
- 修弘さん
- ① 昭和五十六年六月四日
  - ② 最後の小学校生活。一つひとつ大事にやって行きたい。



南中地区  
櫻坂尚久さん

- ① 昭和三十三年五月十九日
  - ② 昨年はリースツール、パークにした、経営勝負はこれから。
- 伸子さん
- ① 昭和三十三年七月十三日
  - ② おいしい牛乳をたくさん生産したい。



豊岡地区  
古瀬優美恵さん

- ① 昭和三十三年二月二十二日
  - ② 新鮮でおいしい牛乳をたくさん生産したい。
- 佳奈さん
- ① 昭和五十六年九月二十日
  - ② 勉強や家のお手伝いなど、いっしょうけんめい頑張る。



中標津第二地区  
名越成夫さん

- ① 大正十年八月十三日
  - ② 地道な中から飛躍する、最初が良ければすべて良し。
- 伸一さん
- ① 昭和五十六年八月二十九日
  - ② 今年はそろばん一級に挑戦。



南依橋地区  
佐々木ミヨさん

- ① 大正十年三月十日
  - ② いっまでも健康で、益々楽しく。
- セツさん
- ① 昭和二十年五月六日
  - ② 厳しい時代なので節約を、そして良い年でありませうように。



侯落地区

松本和正さん

- ① 昭和四十四年一月十八日
- ② 家族も牛も健康で。

千鶴子さん

- ① 昭和四十四年一月二十八日
- ② 元気で明るい家族づくりを。

南武佐地区

真野シツエさん

- ① 昭和二十年一月十九日
- ② 厳しい農業情勢ですが（ケツコ）良い年でありますように。

一美さん

- ① 昭和四十四年二月八日
- ② 先の見えない農業状況だが、自分の将来目標を持ち、明日を担いたい。

南俵橋地区

三友盛行さん

- ① 昭和二十年四月六日
- ② ゆとりある農家生活を。

由美子さん

- ① 昭和二十年六月四日
- ② ゆとりある生活を目指す仲間の人たちと共に、農家生活を満喫して行きたい。



北光地区

八木原カツエさん

- ① 昭和八年一月五日
- ② 自分の身を大切に、家族みんなが元気に明るく。

和代さん

- ① 昭和三十二年二月二十五日
- ② 飛び立つ鳥のように色々な面で上向きになって欲しい。

千里さん

- ① 昭和五十六年七月二十七日
- ② バレー、一輪車、勉強と、いっしょうけんめいがんばる。

光地区

安江孝男さん

- ① 昭和二十年六月十八日
- ② 健康家族、健康な牛づくりを目指して。

定男さん

- ① 昭和五十六年五月二十七日
- ② 野球で全道大会を目指して頑張る。

旭ヶ丘地区

山本邦江さん

- ① 大正十年一月二十八日
- ② 元気で家族仲良く。

千恵子さん

- ① 昭和五十六年一月二十三日
- ② 今年は中学生、健康で明るく勉強、スポーツに頑張る。

# 皆人気の人家のわが家



西共栄地区 笠原康博・よし子さんご夫妻  
長男 尊博君(3歳)

あけましておめでとうござい  
ます。我家の人気者シリーズ、今年  
も張り切ってご紹介していきます  
ので、よろしくお願い致します。  
さて、今年最初にご紹介するの

病院にかかった事がない健康体



は、大きなお目々が愛らしい尊博  
君です。私が何うと笑顔で「いら  
っしゃいませ、どうぞ」と、その  
対応は三歳とは思えないほどしつ  
かりしています。人見知りもなく、  
誰からも可愛いがられる性格。得  
に女の子が好きで、きれいな人は

誰でも「お姉ちゃん」。私の事も「お  
姉ちゃん」と呼んでくれ、すっか  
り私の気を良くしてくれた尊博君。  
歌が大好きで得意はゲンコツ山の  
狸さん。これを歌うと、笠原家に  
六十年ぶりに生まれたお姫様こと  
妹の麻美ちゃん(一歳)が、小さな  
手でゲンコツ山をやる。二人のコ  
ンビネーションはばっちりなので  
す。でも、自分のオモチャをいじ  
られるとつい麻美ちゃんを突き飛  
ばし、おじいちゃんに叱られるこ  
とも。

近くにいる従兄のお兄ちゃんが  
大好きで、自分も早く学校に行き  
たくってしょうがない。「早く学校



麻美ちゃんの方が気が強いとか

に行つて遊びたいみたい。同級生  
は女の子二人と尊博の三人だから、  
将来はカバン持ちが決まっているの」  
と笑顔で話すお母さんのよし子さ  
ん。いつの間にか覚えたのか突然「ハ  
ロー、エブリバデー」と英語を  
言ってみたりして皆を驚かせてい  
ます。四月からは保育所に通いは  
じめる尊博君。皆と仲よく、お友  
達たくさんつくつてね。



遊びの「箱」を回して遊ぶ三人

# 自由化阻止 中島公園 に結集!!

3,500人



日本の食と農を守ろう  
危険な輸入食品はもうごめん

農畜産物の自由化阻止をアピールする「日本の食と農を守る緊急全道総決起大会」が、十二月九日開催され全道から農業者、農業関係者約三千五百人が札幌・中島公園に結集しました。

この大会は新多角的貿易交渉（ガット・ウルグアイ・ラウンド）が年内合意に向け大詰めを迎えたため、自由化阻止をアピールするものでJA中標津からも八人が参加しました。

大会では藤野貞雄（ホクレン会長）大会長が「例外なき関税化は絶対に認められない。国民世論を結集し一步も譲らず自由化を阻止しよう」とあいさつ。

その後、横路知事、若狭道議会議長の激励と各政党代表が自由化阻止に対する決意表明が行なわれ、最後に米、乳製品、でんぷんなどの市場開放阻止決議と、阻止運動への理



トラクターを先頭に市民は自由化阻止を訴えました



デモに参加した根室地区

解と支援を求めた「道民への緊急アピール」を採択しました。大会後は「日本の食と農を守ろう」「子供たちに緑を残そう」などの、のぼりを立てたトラクターを先頭に道庁前までの約三キロをデモ行進しました。

第四十一回全道JA青年部大会が十二月八日、九日、札幌市グリーンホテル札幌を会場に開催されました。

今年は「ヒューマンネットワーク、人と地球にやさしい農業をめざして」をテーマに、全道から約六百人のJA青年部員が参加。

開会式では佐藤彰会長が「Think・Together」と題し、対外的な広報活動を進めてきたが、まかれた種は順調に芽を出し、数年後には心ず実をつけてくれると確信している」とあいさつ。また、ガット農業交渉では、「これからが

正念場、断固反対ののろしを上げ続けてほしい」と呼びかけました。基調講演では、北海道大学農学

緊急 市場開放阻止 アピール採択する

●全道JA青年部大会●



## 人と地球にやさしい農業とは？

部の但野利秋教授が「クリーン農業をめざして」と題し、環境調和型農業における農畜産物の安全性、減農薬、減化学肥料の重要性を強調しました。

続いて、但野氏をコーディネイターに、相馬暁（道立中央農試企画情報室長）、尾田房子（道消費者生活コンサルタントクラブ会長）、上野裕幸（元JA道青年部協議会長）をパネリストに「人と地球にやさしい農業をめざして」と題しパネルディスカッションが行なわれ、特別栽培米の具体的な取り組みなど、消費者が求める安全、良質の農産物などについて、生産者、研究者、消費者がお互い理解し合い、人と地球にやさしい農業、食料生産を行なっていく必要性についてが討議されました。

翌日は、全道六地区からのJA青年部組織事例発表大会が行なわれ、JA厚岸青年部の「うけとめて、白いメッセージ」が最優秀賞に輝きました。

その後、農産物の市場開放阻止緊急アピールと大会宣言を採択し閉会しました。

## 税 知っておきたい 税の知識

所得税の確定申告は

正しくお早めに

正しい確定申告を

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行なってください。

申告書を自分で書くときは

申告書を書くときには「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書き方」を参考にしてください。「申告書の書き方」に示されている番号順に記入していくと、所得や税額の計算が簡単にできるようなっています。

税務署から、申告書用紙が送られている場合は、必ず送られた用紙で申告してください。

また、送られていない場合は、税務署に申告書用紙や「申告書の書き方」などが用意してありますのでご利用ください。

組合員さんと  
一緒に

とても楽しかった

# 火の国・九州

JA中標津  
貯金旅行  
安住 李子

十一月十三日から十一月十八日の九州旅行はとても天気にも恵まれ、途中少しだけ雨が降ったものの、後はほとんど晴天でした。

組合員十九人と職員二人の旅だったのですが、初日は着いたそうそう「地獄めぐり」で海地獄、山地獄など色々な地獄を見る事ができたのですが、まだ地獄を見るには早すぎたのか、変な気分でした。この日は別府温泉に泊ったわけですが、長い時間飛行機に乗っていた事もあり、初日からなんだか疲れ気味、しかし組合員さんは少しも疲れなどみせずとても元気なので、びっくりしました。

十四日、由布院から草千里、阿蘇山という日程で、バスから見える景色は最高でした。特に目によく映ったのが柿の木でした。その時のみんなの顔はすべて柿、柿、柿といった感じで、柿を見るたび



ハウステンボスの風車

「ウアー」という声かバスの中で響きわたっていました。なんて、その中の一人は私だったので、十五日、一番楽しみにしていたのがハウステンボスでした。しかし行ってみると、とても広くて同じ建物ばかりで、方向おんちの私にとっては何もありませんでした。でも、添乗員さんにびったり、くつききなんとかなったものの、みんな

なも離れてわからなくなるのを心配していたわりには、集合時間にはみんなきっちり集まった時には驚きました。それから長崎市内観光をして雲仙温泉へ。

十六日、私にとって今回の旅行で一番ショックな事がありました。それは雲仙の町の様子でした。植物は灰で真っ白、建物は大きな石が家の中に入っており、雲仙岳の近くの家などはとても被害がひどく、もちろん人も住んでいないような状態ではありませんでした。テレビなどで見るよりも、生で見たあの被害はとても胸に痛感しました。



JA貯金旅行、参加者揃って

そこから、三角、天草パールライン、水前寺清子が結婚式をあげたという水前寺公園、ここは本当にポスターにしてしまいたいほど、

十二月一、二日の両日にわたり川湯観光ホテルに於いて婦人部研修会が開催されました。一日目は、

婦人部って  
なあに?  
をテーマに  
根釧合同JA婦人部  
研修会に参加して

清原 クニ子

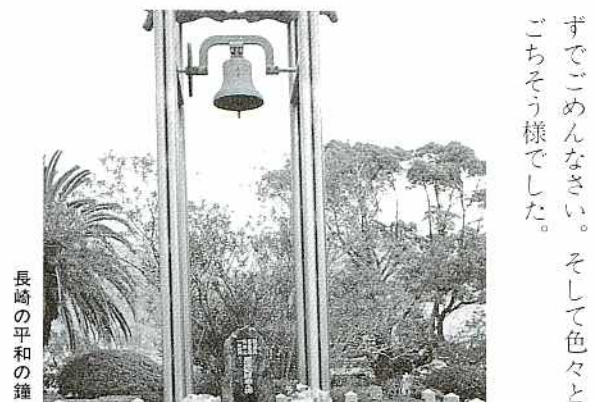
開会挨拶のあとJA標準の河崎光さんと、JA厚岸の荒岡愛子さんの「家の光」記事活用体験発表が行なわれました。その後、参加者が二十グループに分れての「JA婦人部ってなあに?」というテーマで話し合いが行なわれたあと、北農健保組合トレーナーの指導で、肩こりなどに効くストレッチ体操を習い、一日目の研修は終わりました。午後六時から楽しく、にぎやかに懇親会が行なわれました。

二日目は、朝八時半から南根室地区農業改良普及所主任・村上明弘氏のたくみな話術の講演は、時間を感じさせないものでした。最後に全体討議で前日のグループ討議のまとめが発表され、婦人部ってなあに?の問いに対して、婦人部とは定年の無いグループ、時代の流れによって変わる、サークル活動と婦人部は違う、自分の勉強の場であるなどのまとめが発表され、二日間の研修が終わりました。皆さん和気あいあいの研修会でした。



きれいな所でした。十七日、鹿児島市内観光から桜島、鶴戸神宮は洞くつの中に入り腰を低くしてみると、お乳の形に見えるという、ガイドさんの説明を聞きながらも一部の人は、全然違う方を探していたのが印象的でした。

次にサポテン公園へ行って忘れられなかったのが、サポテンステーションがある聞いた事でした。たしか千円ぐらいだったと思います。が、どうも食べる気にはなれませんでした。けど好みみたいですよ。サポテン焼酎からサポテンアイス、サポテンクッキーにチョコ、なんだが無理にサポテンなんとかにしている様で、ちよつと腹がたちました。



長崎の平和の鐘

# AI、ET技術の進展を学ぶ

第17回

北海道家畜人工授精師協会主催

## ヨーロッパ酪農 人工授精視察研修報告

10月12日～25日

新井正春

ヨーロッパ五カ国（オランダ・ドイツ・スイス・イタリ  
ア・フランス）を道A1協会常務理事の越智氏を団長に、  
全道各支部より二十四人が参加、視察研修してきましたの  
で概要を報告致します。

へオランダへ  
オランダは九州と同じ位の面積  
で海拔5m以下、高い山でも二百  
九十八m。経済的にはECの中で  
ドイツに対し輸出超過国であり、  
天然ガスが出て国際状況が良い国  
である。北部は牛が多く南部は豚  
が多い。  
最初の研修は、降霜を踏みしめ  
ながらオランダの北東に位置する

アーネムのNRS（国の家畜改良）  
を訪問。プロビンス州メンバーの  
農家で組織され、人工授精、乳検、  
登録体審、育種改良、輸出証明、  
研究開発などで構成、農家への情  
報提供が行なわれている。運営資  
金は二千五百ギルダー（一ギルダ  
一七八円）で農家負担が九四一  
九五%で、政府からの助成はない  
との事。収入の内訳は年会費が二  
〇%で他八〇%は人工授精、乳検  
などの資料提供、アドバイス（交  
配相談、飼料給与設計）、登録業務  
が主な収入。一頭当り全費用は九  
十ギルダーで、乳代百kgに相当  
（乳価八十セント/kg）。NRSの  
コンピューター室では、収集、保  
存の二種類のコンピューターを使  
用、NRSと農家の密接さ必要性  
を知る。登録はEC獣医の協定で

生後三日以内に農家か  
らの電話により、コン  
ピューターに記録され  
る。（約一日一万頭）管  
理はすべて耳標によつ  
て個体識別され、売買  
時にNRSが証明書を書  
発行するシステムにな  
っている。乳検加入率  
は七五%（百三十五万  
頭）で平均月一回の立  
会。但し飼料設計など  
でデータが必要とす  
る農家は、三週間に一回で検定情報  
の郵送は五日以内に行なわれていた。  
人工授精一九九一年の成績は七  
十五万頭人工授精、トップの種雄  
牛で三十二万本使用（価格約二十  
五ギルダー）、五十六日NRで受胎  
率七〇・九%、また、ETについ

ては全オランダで二千五百回採卵  
され、一回平均五・五個回収。凍  
結受精卵のみを実施五五〜六〇%  
の受胎率を上げているが、経費が  
高いため伸び悩んでいる。移植料  
約一万、優良卵約三〜十五万、輸  
入卵はアメリカ、カナダから、三千

STATION  
STAGES de TRANSFERT d'EMBRYONS  
METHODE IMV INRA





個、精液では九万本である。

① オランダのヘルパー制度（ヘファーム・ヘルプ・サービス）リーワデンは、三十年前に設立され、五年間補助金を受ける。オランダ十二州の内五州が営業範囲、契約農家二万六千六百六十戸、年間売上八千五百万ギルダー。メンバーの内訳は酪農家約一万戸、ハウスなどの野菜農家約五千戸、作物などの一般穀物農家約五千戸。ヘルパーの組織は三大組織と小さなグループ十六の組合で活動され、従業員は長期九百人、短期三百〜六百人、事務、教職員七十一人と組織が大きい。

三大組織の業務内容と給与

① 技術者で長期のヘルパー（病気などのため経営を依頼）特殊な仕事（削蹄、機械の運転など）年齢三十五歳位、給与税込二十七〜三十一万）

② 一般農家の仕事手伝い（週二〜三日で各農家を回る）農業学校卒で資格を得たら長期のヘルパーへ、年齢二十五歳位（給与十六万）

③ 主に単純作業（ハウス野菜などの管理）短期のアルバイト、

年齢十八〜二十歳位（給与十二〜十四万）

他ポーナス制度はないが休暇手当八・二五％、社会保険料などの税金が本俸の三七％で、年間千七百十時間働けば長期の休暇、もしくは超勤手当が支給される。また、職員が優秀なため他からの仕事の依頼もあるそうです。

ヘドイツ

ドイツではホルスタイン種四五％とシンメンタール種三五％で、



ミュンヘン・授精師・リーガン氏の直検

約八〇％を占めており、他はブラウンスイス、ゲルファイ種などが飼養されている。シンメンタール種は南部に多く、農家の九七％がシンメンタール種で乳肉兼用、一戸平均二十頭で、肉の価格はホルスタインの三倍、生後二週間で平均九百マルク（一マルク＝八十二円）、乳量は五千〜七千kg位。

① ノイシュタッドAI、ETセンター（西ドイツ、ニュールンベルグ）

創立四十二年、最初は雌牛の診療としてスタート、人工業

務は一九五五年に開業し、現在ドイツで一番大きい人工授精所となる。昨年のAI、ET実施頭数は九〇％、シンメンタール種で、人工授精頭数七十万頭。採卵回数五百回で、受精卵移植頭数三千頭実施されている。

また、当授精所では豚の授精も行なわれ、昨年十八万七千本使用されている。四万件の酪農家がいる、一戸当りの平均飼養頭数二十頭で、肉の利用を考えると兼用種が有利との事。

② メグレAI・ETセンター

（西ドイツ・ミュンヘン）

ミュンヘンから東へ五十kmに位置し、ドイツで最大の民間経営。一九〇三年設立で乳製品工場も経営、その乳製品工場を経営するために人工授精所を開設したのが始まりである。当授精所もシンメンタール種が主で四十五頭繋養、ブルブックなどの成績は州政府の技術者が種雄牛の評価を毎年する。乳価は脂肪、蛋白買いになってい

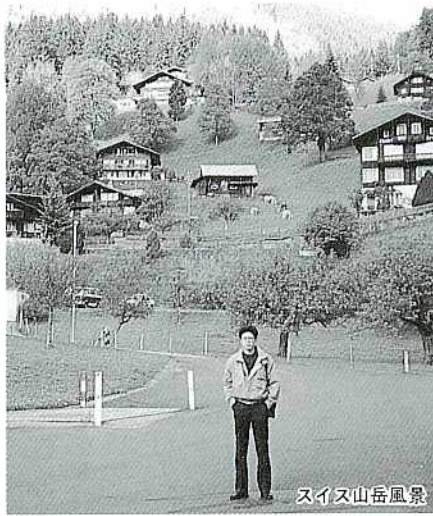
るため改良目標は乳成分に重点がおかれていた。  
ミュンヘンの農場で授精師と交流、授精師は経験十九年のリーガン氏で、直検から授精までの一途を見学、その中でスタンディング発情の見逃しなど、農家が発情適期をはずすのが多く、受胎率が低下するため指導など助言されている。また、授精適期はスタンディング発情から二十四時間以内に授精され、受胎率は六十〜九十日NRで六八％と、ドイツでは高い受胎率であるとの事。

ドイツ研修で最後にミュンヘン大学でDランディ氏より、短時間ではあったが、今までの研究の概要と、現在コンピューターによ

り精子の動きによる受胎がどの位あるのか研究中であった。

#### ヘスイス

ザクレガレンで昼食をとりながら、スイス酪農見本市(酪農業フェア)を見学し、約六百種の農業機械などの展示などがありました。時間の関係で少ししか見れなかつた。昨年の入場者数は約四十二万五千人との事でした。



スイス山岳風景

見学で観光用につくられた鉄道(着工時十六億)で、最大斜度二五度、八十年経過している三巨連峰(アイガー、モヘンヒ、ユングフラウ)を間近に見て圧倒、その山裾の狭い土地に酪農の戸数は約二百件で、

一戸当りの飼養頭数は十〜十五頭。環境保全のため夏の間百日かけ、カウベルをつけた牛が二千米の限界まで放牧され、国からの援助を頭数に対して受けている。また、乳肉兼用種を飼養しているため、年間乳量により淘汰されている。(肉価約三十〜五十万)

#### ヘイタリア

イタリアは経済的に北部が発達しており、生活文化もローマを境にわかれている。一八〇〇〜一九〇〇年時代の建物が多く、歴史を感じさせる国である。

◎ミラノAI・ETセンター(オナー銀行)

イタリアでは十九のセンターがあり、日本同様でアメリカから乳能力の高い系統を積極的に導入している。一九五七年設立、現在地へは二十年前に移転、ホルスタイン種で種雄牛総頭数三百頭(検定済三十頭)で、毎年六十五〜七十五頭の若牛の検定を実施しているが、健康衛生管理に対し慎重に行なわれていた。百六十万頭のホルスタイン種がいて、登録は七〇%(百二十万頭)乳検も七〇%実施されている。一九八八年頃から蛋白が重

要視され、イタリアの牛乳の七〇%がチーズ加工のため乳量、蛋白、体型(特に乳器)に改良の目標がおかれている。後代検定の実施は年間八百〜千戸の農家と契約、一戸当り五〜十本の精液を配付、料金一ストロー四千里ラ(千里ラ十円)。その他、分娩と検定時に合計十万里ラ農家に支払われる。

#### ヘフランス

最終の訪問国であるフランスでは、パリ西部のIMV(カスー)社、国立農業学校、バン種馬、そして東部のユネコAIセンター、シャンパニューワイン工場を視察。その間にパリ市内ルーブル美術館、ノートルダム寺院等々の観光視察をしました。

#### ◎IMV(カスー社)

一九四五年にIMVのDrカスー氏が人工授精の普及のために設立。

AI・ET器具を世界九十九カ国以上に販売利用され、総売り上げの八割が外国へ輸出されている。

当社で昼食のもてなしを受け、食事しながら交流の機会を得た。近隣にはET・AIセンターがあり、国と共同研究がなされ、人工授精も牛、馬、羊、山羊、鳥、豚

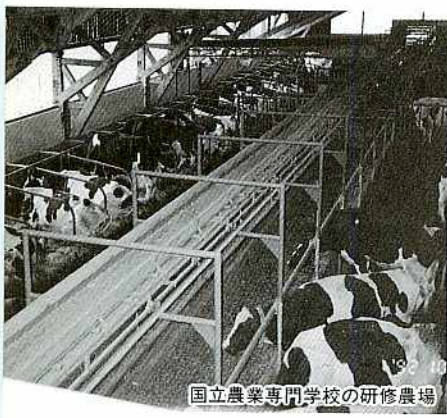
が行なわれ、現在豚の凍結精液の研究中であり、ETでは牛百頭、羊、山羊が行なわれ馬のETが国と研究中であった。また、二週間のコースで研修員(昨年三十五カ国四百人)も訪れている。受胎率はフランス三万二千頭ET実施し、新鮮卵移植六八%凍結卵移植(Aランク)五五%。

#### 十三カ所

一七一五年設立、自然と人工交配を行ない改良をしている。現在七十頭の種馬で十種いて当所ではベルシユロン、コブ種が主に繋養されている。一回の授精料金、自然交配百五十フラン、人工交配三百五十フラン、最高授精料金アメリカントロットタ三万三千フラン(支払い三回)(一フラン二十五円)

国立農業専門学校(国の管理で自主運営)

農業関係及び農家の研修も出来るフランス最高の農業教育機関で、卒業後の進路は指導関係が九五%となつている。当研修農場を含め、三カ所の農場があり、百二十五人の先生と二百人の研修員が二十六



国立農業専門学校の研究農場

部に別かされている。農場の飼養頭数は百六十頭で、牛乳を販売せず加工し乳製品として販売。また、羊の育成も行ない肉、繁殖の研究など六百頭を飼養。農場の総面積三百ha(百ha小麦、八十haコーン、五十haアルファアルファ、二十ha草地、五十ha敷地)牛舎はフリーストール式で、フランスの五割がフリーストールであり給餌、バンクリーナーなどほとんどが自動式になっていた。使用精液はアメリカ、カナダの種が主に使用されているユネコAIセンター視察

十七カ所の支所より育種改良を行なっており、それぞれの代表が集まりセンターを構成し、交配指導など農家に対し助言している。人工授精師は四百三十人。候補種雄牛のテストは年間二百頭で世界各国から集められている。特にアメリカが多く百二十頭、フランス五十頭と大半を占め、テスト結果ではフランスの若牛が成績良く、カナダが最低でカナダからの輸入をおさえる予定。事業目的は、ホルスタインの改良と世界に凍結精液の販売など意欲的であった。ET事業では、十年前から行なわれ、この二三年は普及率が低下(原因は生産コスト)している。ET費用は約十万円、受胎率は新鮮卵移植六〇%、凍結卵移植五〇〜五五%であり、また、農家庭先での雄雌判別も四時間、凍結胚でも七〇%は判別可能と技術は進んでいた。

日程に多少の無理があり、予定していた訪問先を視察出来ませんでした。全員無事帰道することが出来ました。今回の視察でヨーロッパ五カ国の乳肉牛の改良、各授精所のAI・ET技術の進展、酪農事情(歴史の違いなど)後代検定など考えさせられた研修でありました。最後になりましたが、各関係機関、組合長を始め組合員、職員の皆様は厚くお礼申し上げます。貴重な経験をこれからの業務に生かし視察の報告に致します。

## 年始の業務日程のお知らせ

休 業

業務名	営 業、休 業 日 程						
	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)
一 般 業 務							
貯 金・クミカン				午後3時迄	午後3時迄	午後3時迄	平
A T M				午後3時迄	午後3時迄	午後3時迄	常
ス ト ア					平 常	平 常	業
給油所(農協前、桜ヶ丘)				午後6時迄	午後6時迄	午後6時迄	務
人 工 授 精		受付は午前11時迄	受付は午前11時迄	受付は午前11時迄	受付は午前11時迄	受付は午前11時迄	
乳 質 検 査 (体細胞、抗菌性物質)				平 常	平 常	平 常	
畜産販売関係業務					緊急のみ 屠場取扱 (農協トラック集荷は7日から)	血清取扱い 開始屠場平常	ホクレン市場 初セリ



会場は終始なごやかな雰囲気です

ちょっぴり早い

## クリスマスパーティーで交流会

J A 青年部独身者交流推進委員会によるクリスマスパーティーが、12月2日、スナック・シャカで開催。

クリスマス気分にはちょっぴり早い感じでしたが、女性23人、男性17人が参加し、会場はなかなかの良いムード。

カラオケや男女ペアのゲームで楽しく交流しました。ひょっとすると目出たいカップルが、今年あたり誕生するかも？



2人の息はピッタリ合ってるかな？

# フ オ ト ア ス ル ズ ム



町民1人1人に自由化阻止の協力をお願いしました

## 道民に訴える、 守ろう、日本の食と農

ガット・ウルグアイ・ラウンドの交渉が大詰めを迎えるなか、根室地区農青協、農婦協では、農畜産物市場開放阻止運動として、12月20日、道民へのアピールのため東武デパート前で「道民の皆さんに訴えます」のチラシ配付を行ないました。年の瀬ともあって道行く消費者も多く、守ろう日本の食と農を力強く町民にアピールしました。



中春別からモンちゃんも特別出演しました



みんなで泳ぐの  
が楽しい  
是非来年も  
やりましょう!!

フレッシュミセス  
スイミングスクール

JA 婦人部フレッシュミセス水泳教室が12月1日から8回にわたり、中標津町温水プールで開催されました。今年10月にオープンされたばかりのプールとあって設備が整っていて、とてもきれい。“25mを泳ぎきろう”を目標に、集まる部員達は「少しずつ泳げるようになるのがうれしい」「みんなで泳ぐのが楽しい」「ボーリングより楽しい」と、この日だけは子供もご主人にあずけて参加。もとイトマンスイミングインストラクターの杉本光代先生の指導のもと、泳ぐ事ができなかった人も、最終日には全員25mを泳げるようになり、是非来年もやりたいと、全員満足した顔で講習を終了しました。



## 姿勢正しく、つましく

婦人部華道教室

JA 婦人部華道教室が、いけばな未生流師範・田中吉子先生を招き、11月27日から4回にわたり、農協会議室で開講されました。このいけばな教室は昨年に引き続き2年目とあって、受講者の手つきもなかなかのもの。いつもは



1つひとついねいに花をいける部員さん

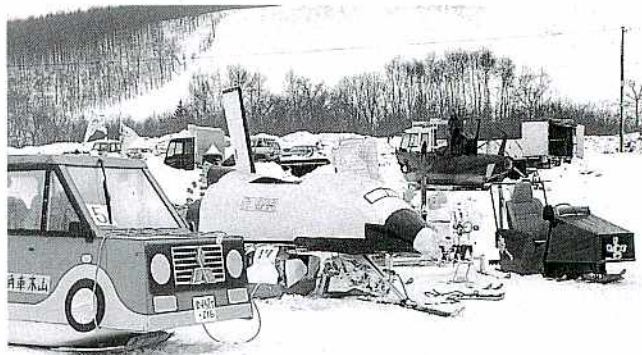


わからない所は先生がお手本を示し教えてくれます

殺風景の会議室も華、華、華!!と華1色に染まっていました。最終日の12月17日にはお正月の華を生けて教室を終了。自分の生けたお華が、家に飾ってある今年のお正月はひと味がうものでしょう。

## 12月の 組合日誌

- 1日 第5回営農委員会
- 2日 営農計画書作成開始
- 4日 婦人部華道教室
- 5日 てん菜振興会役員会
- 7日～10日 北農中央会監査
- 11日 婦人部華道教室
- 15日 馬鈴しょ振興会役員会
- 15日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 15日 根室税務署畑作標準意見聴衆会
- 18日 第18回理事会
- 28日 役員協議会
- 30日 年末業務納め



## 自作ソリ大会参加者大募集 あなたも参加してみませんか？

開陽台自作ソリ大会が2月21日、開陽台育成牧場で開催されます。

競技は、スピード部門とパフォーマンス部門があり、個々で工夫した面白い自作ソリを大募集しております。

また、チューブすべり、宝さがし、ビンゴゲームなどの楽しいアトラクションもあり、賞金、賞品もたくさん用意しておりますので、多数の方々の参加、ご来場をお待ちいたしております。

参加申込み、詳細については、開陽館(小木)④2360番 中標津町商工観光課③3111番、中標津町商工会(佐々木)②2720番までご連絡下さい。

## 表紙の紹介

今月の表紙は、依橋の佐々木文作さん宅で飼養されているハツカンというキジ科の鳥で、原産地は中国南西部、オスの背面は全体に白くV字型の黒い波状紋があり、頭上には羽冠があり黒く、顔には羽毛がなく赤い。その他、佐々木さんではキンケ、チャボ、ウコツケイなどの鳥が飼われています。



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましては、ご家族お揃いでのお正月をお迎えの事と思います。

さて、平成五年はどんな年になるのでしょうか？

今大詰めを迎えようとしているガット・ウルグアイ・ラウンドは、どのような結末になるのか非常に興味深いものです。

また、バブル崩壊による消費の低迷も、いつ頃回復に向かうのでしょうか。

さらに、今年の生乳生産枠、乳価と非常に心配される事が多い年になりそうです。

しかし、太陽は毎日東から昇り西に沈みます。そしてその光は私たちに恵みの光として与えてくれます。この太陽が昇るかぎり農業が絶えることはないのです。

平成五年も、輝かしい日の光に向かい、夢と希望を持ち、厳しい農業状況を乗り越えて行きたいものです。